

# 横浜ガルバー株式会社（鶴見駒岡工場）

令和3年度事業

神奈川県横浜市鶴見区／金属製品製造業  
リース会社：オリックス株式会社

会社HP：<http://yokohama.z-mekki.com/>  
鶴見駒岡工場HP：<http://yokohama.z-mekki.com/factory/02/>

補助対象経費 **2億6,201万円**  
補助金 **1億3,100万円**

※金額は申請時の額

## 事業概要

当社は、溶融亜鉛めっきを通じて、様々な鉄鋼製品の防錆処理を行っています。  
この事業では、既存の鶴見本社工場での前処理設備、めっき炉、集塵機を更新し、新工場（鶴見駒岡工場）へ移転設置しました。  
移転設置にあたり、製造ラインを2本から1本へ集約更新し、めっき炉を高効率のセラミックバス式亜鉛めっき炉への更新のほか、前処理設備の更新、INV機能のある集塵機を導入することで、抜本的な省エネルギーを図りました。



事業実施場所：神奈川県横浜市鶴見区

## 事業者メッセージ

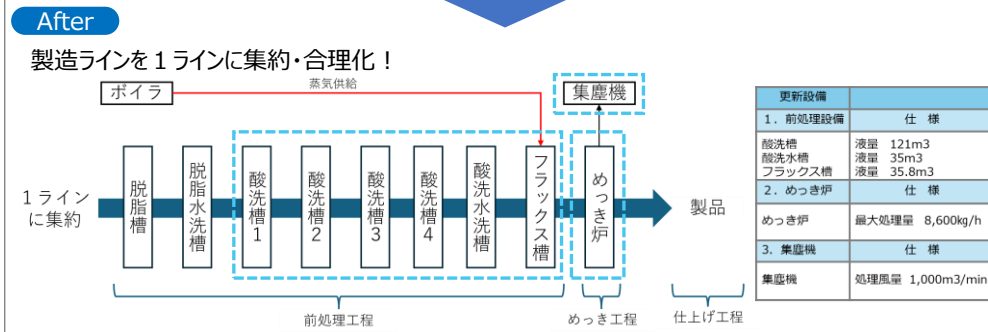
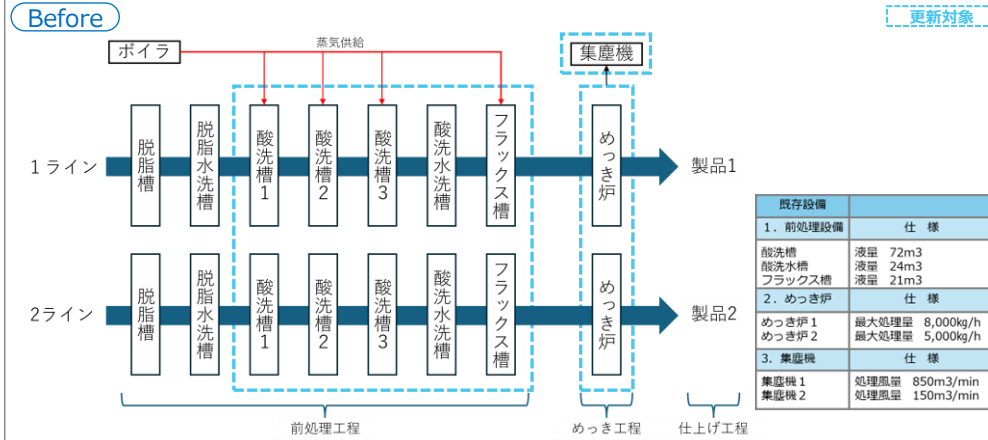
当社は長年の経験で培った技術やノウハウを活かし、2022年3月に鶴見駒岡工場を新たに竣工しました。  
当初の計画からSDGs、カーボンニュートラルに向けた取組みと、最新技術の設備導入を検討していたため、多額なコストが予想され、より慎重な経営判断が求められる状況でした。情報収集をする中でお付き合いのあるリース事業者から省エネ補助金活用提案があり、計画に拍車をかけることができました。  
新工場では最新技術を駆使した設備として、省エネルギー・エネルギー効率向上を実現させてCO2の低減を図ることができました。また、環境対応型高純度亜鉛めっきに加え高耐食性合金めっきを配備した最新型めっき工場で、公共インフラ設備長寿命化など多様化するあらゆるニーズにお応えします。

## 省エネ効果

事業所全体の  
エネルギー使用量  
**938.5** (kl/年)

省エネルギー量	<b>241.3</b> (kl/年)
事業所全体の省エネルギー率	<b>25.71%</b>
削減コスト	<b>1,286</b> (万円/年)

## 省エネのPOINT



### 【先進性】

高効率のレキュレータ内蔵型のバーナーを採用することで、内部1,000℃で厚み10mmの炭化ケイ素セラミックチューブを介して湯温に伝熱しており、炉全体の加熱効率が高い。

熱交換器とバーナーが一体化されることになり、燃焼で発生する排気ガスはバーナー内部で燃焼空気（25℃）と熱交換を行い、排熱回収を効率的に行えるようになる。

一般的な鉄釜は消耗が発生し交換が必要となるが、本設備は釜交換が不要であるため、釜交換時に発生する亜鉛の取り出し、釜に付着している亜鉛の廃棄、再溶解等が不要となる。そのため、亜鉛ロスや再溶解のための燃料が削減できる。